



さあ、図書館へ行こう！

とよかん日和

vol.15

市内図書館が、皆さんにおすすめしたい本を紹介します。



今月の図書館 **みとよ未来図書館**
☎ 72-5631

著者はメディアアコメンテーターをはじめ、幅広い分野で活躍中の古市憲寿さん。日本史に現在の社会・エンタメ要素を取り入れ、固有名詞・年号を極力省いた読みやすい形で構成されています。教科書とは異次元の本です。

壮大な日本の歴史を「古代」「中世」「近代」に分け、広い視野で読み解いています。真面目な論説に加え、時折差し込まれる古市節。思わず「それは違うやろ(笑)」と軽くツッコミたくなる描写もあり、歴史好きにはたまりません。完全に著者の策略に乗せられ、どんどんページを読み進めてしまいます。

また、あとがきに本の真髓が集約されており、どのように読んだらよいのかに気付かされます。最初はサラッと、次にあとがき、そして再度じっくり読むと、より一層理解が深まるのではないのでしょうか。



『絶対に挫折しない日本史』
著者名 古市憲寿
出版社 新潮社

「動かない鳥」として大人気のハシビロコウ。作者二人のハシビロコウ愛に溢れた絵本です。

いつもじっとしているハシビロコウ。友達のカバがぎても、ヘビがぎても、じっと池のほとりに立ったまま。さらに、ゾウの鼻が巨大なバナナになっても、シマウマの模様が渦巻きになっても、うとも！近くにきた動物たちの様子がどんなにおかしくても少しも動きません。

そんなハシビロコウがついに、動いた！一体、どんなときに動いたのでしょうか？

ハシビロコウの生態がよく分かる一冊です。また、動かないけど各場面によって表情の違うハシビロコウの目にも注目です。



『うごきません。』
著者名 大塚健太
絵 柴田ケイコ
出版社 バイインターナショナル

図書館ニュース

★MAiZM in みとよ未来図書館★

みとよ未来図書館とみとよAI社会推進機構(MAiZM)が連携し、AI技術やプログラミング教育に関する企画展を開催します。AIやディープラーニング[※]を活用できる人材育成、AIを使った地域課題解決など、MAiZMの取り組みパネルや、AIやプログラミングに関する図書の展示などを行います。ぜひお越しください。

期間 3月2日(火)～16日(火) 午前9時30分～午後6時
場所 みとよ未来図書館
問い合わせ みとよ未来図書館 ☎72-5631

※ディープラーニング……人間が行う作業をコンピューターに学習させること

★3月の休館日★

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

□休館日

SDGsは、壮大なテーマだと思っていました。しかし、普段から水道水を小まめに止めたり、SDGsに取り組む企業の商品を買ったりと、生活の中には意外と簡単に出来ることがあることに気付きます。記事を読んで「自分ではSDGsって何だろう？」と考えるきっかけになればうれしいです。



「広報みとよ」をアプリで配信しています

スマートフォンやタブレット向けの無料アプリ「マチイロ」でも広報みとよをご覧いただけます。



※アプリは無料でダウンロードできますが、情報の受信には通信料が必要です。



▲アプリのダウンロードはこちらから

季節のお便り募集

暮らしのエピソードや風景写真、広報の感想を募集しています。住所、氏名(ペンネーム)、電話番号を明記の上、写真や文章を添えて秘書課へ郵送またはメール(hisho@city.mitoyo.lg.jp)でお送りください。

▶問い合わせ 秘書課 ☎73-3001

三豊市の人口

※令和3年2月1日現在 ()内は前月比

世帯数 23,276 世帯(-13) 総人口 61,513 人(-73) 男 29,585 人(-42) 女 31,928 人(-31)

※香川県人口移動調査による